



12 [冰山を背に、調査船上の那須先生]

南極なんきょくの海へ9回、北極ほっきょくの海へ4回。また、北太平洋から南太平洋、そしてインド洋へも調査に出かけました。

調査船ちゆうさせんに乗り、海の上で調査した日数は、2300日を超え、なかには、半年以上も陸にあがることのない調査もありました。

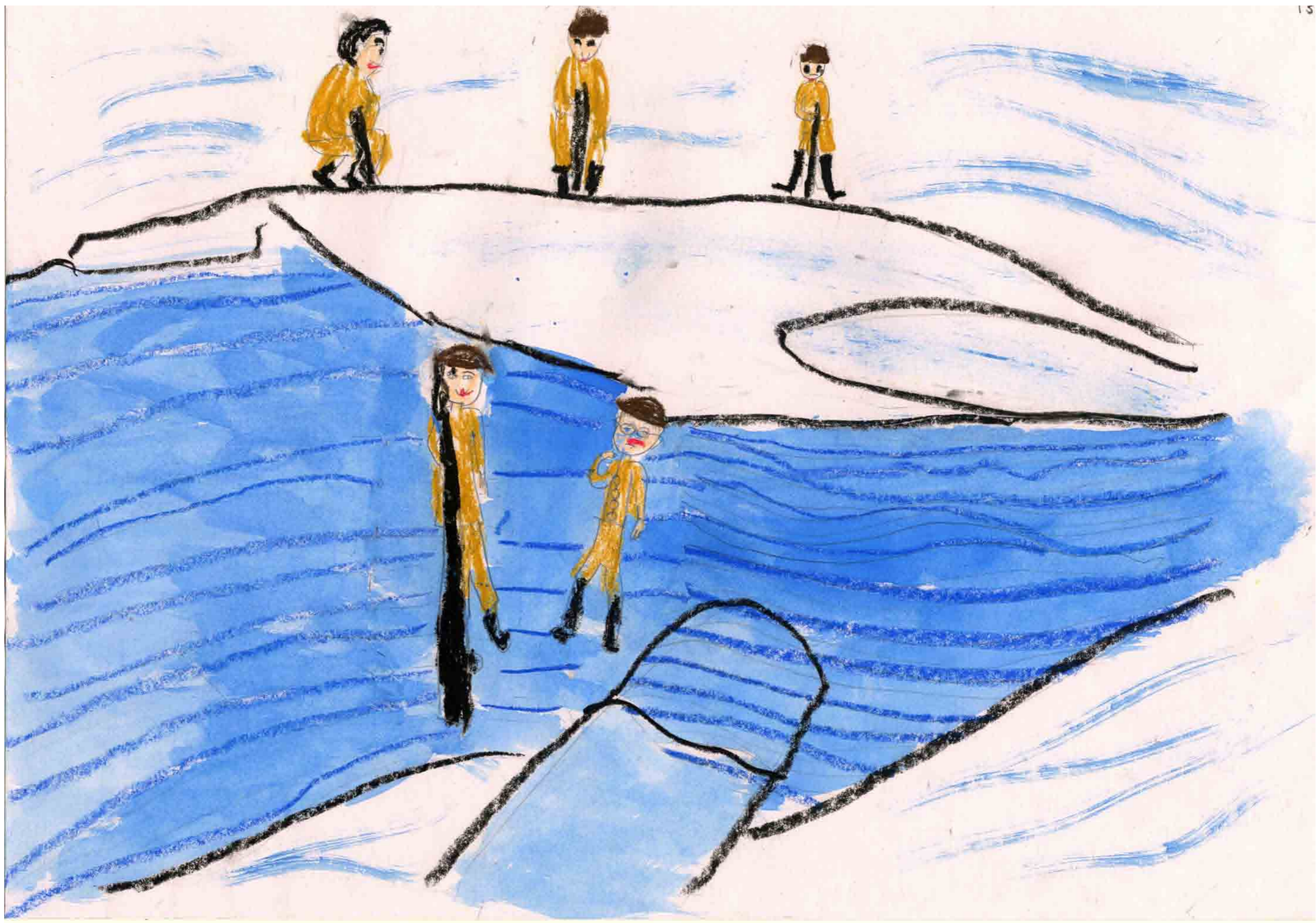


13 [船上でクジラを解剖調査する奈須先生たち]

解剖調査したクジラの頭数は、6000頭を数えました。

その種類は、シロナガスクジラ、ナガスクジラ、イワシクジラ、ニタリクジラ、セミクジラ、ザトウクジラ、ミンククジラ、マッコウクジラなどでした。

中城 利菜
中塚 せいな



14 [学長から博士号を授与される奈須先生のシーン]

そして、クジラを対象に研究した海洋学で、^{とうきょうだいがく}東京大学から^{はくしつごう}博士号を授与されました。



15

[地球儀を前に、環境問題を訴える奈須先生]

奈須先生は、以後40年間、水産庁の水産研究所を辞めるまで、「行動する学者」であり続けました。

また、奈須先生は、『鯨と海のものがたり』という本で、「地球環境の将来を考慮しよう」と提言しました。

金子ほのか



16 [おしまい] [帰郷後の海辺の家]

帰郷後、奈須先生は小さいとき育った浜辺に家建て、執筆や講演にあけくれ、
この世を去っていきました。

お し ま い 。

黒木 星
黒木 海音



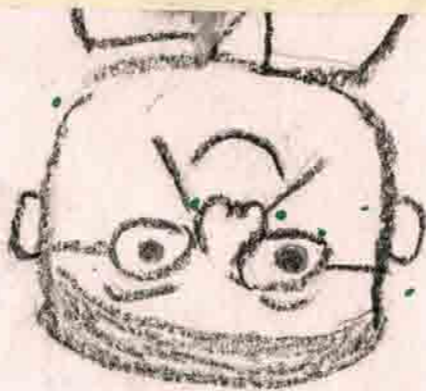
あしあし



「クジラ少年」

脚本 鳥巢京一

- 1 [タイトル： 前書][昭和初めの門川町の風景]
海洋学者で名を成した奈須敬二先生（1931～1996）の波瀾万丈の物語です。



はのか